

# 都市再生整備計画 フォローアップ報告書

## 武雄温泉駅周辺地区

平成29年2月

佐賀県武雄市

## 1. 数値目標の達成状況の確認(確定値)

様式4-① 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等	総合所見
				評価値	見込み・確定の別	目標達成度	1年以内の達成見込み				理由	
指標1 歩行者等通行量	人・台/12時間	481	498	755	確定	●	○	あり	H 年 月		□ 改善策はそのまま □ 改善策に補強が必要 □ 新たに改善策をたてる	区画整理事業や街路整備により、歩行者の安全性が確保された。また、公園、地域生活基盤施設などの整備により、駅や周辺からの観光客をスムーズに誘導できた。これに伴い、中心市街地の歩行者交通量も増加した。
					見込み		○	なし				
指標2 空店舗率	%	13.6	11.0	11.0	確定	●	○	あり	H 年 月		□ 改善策はそのまま □ 改善策に補強が必要 □ 新たに改善策をたてる	区画整理事業により広幅員の歩道が整備された。また、高賀空間形成施設や地元商店会の景観活動等により歩行空間が整備され、松原通りの魅力が向上した。これに伴い、空き店舗率の減少につながった。
					見込み		○	なし				
指標3 中心市街地の満足度	ポイント	3.0	4.0	3.5	確定	●	△	あり	H 年 月		□ 改善策はそのまま □ 改善策に補強が必要 □ 新たに改善策をたてる	地元居住者や商業者に対する効果は十分にでているとは言い難い。しかし、歩行者の安全性などの項目については一定の評価を得ており、事業効果が出始めているものと考える。
					見込み		△	なし				

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-①から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

様式4-② その他の数値指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等	総合所見
				評価値	見込み・確定の別	達成度	1年以内の達成見込み				理由	
その他の数値指標1 観光客数	千人/年	1,675	1,805	確定				1,800	H 28 年 4月		■ 改善策はそのまま □ 改善策に補強が必要 □ 新たに改善策をたてる	区画整理事業や街路整備により、歩行空間や観光案内板の設置により回遊性が高まることと、官民によるソフト事業の効果で観光客数は年々増加している。
				見込み	●							
その他の数値指標2 車両交通量	台/12時間	10,531	11,471	確定	●			H 年 月			□ 改善策はそのまま □ 改善策に補強が必要 □ 新たに改善策をたてる	区画整理事業や街路の整備により、車歩道の安全が確保され、公園、地域生活基盤施設などの整備により、市外や周辺からの車両をスムーズに誘導できた。これに伴い、中心市街地を往来する自動車等の交通量も増加した。
				見込み								

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-②から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

## 2. 今後のまちづくり方策の検証

様式4-③「今後のまちづくり方策」の進捗状況

事後評価シート 添付様式5-③に記載した 今後のまちづくり方策(事項)		実施した具体的な内容	実施した結果	今後の課題 その他特記事項
・成果を持続させるために 行う方策	商店街の賑わいの持続	・楼門朝市を毎週日曜日に開催している。 ・商店街の空き店舗を活用した事業者を募集した。	・楼門朝市は、平成19年から継続して実施しているが、事業として定着し、毎週100名程度が足を運んでいる。 ・空き店舗活用事業者を募集したが、平成28年度の申請は0件であった。	・楼門朝市は、武雄温泉の定番となるように継続していきたい。 ・空き店舗活用事業者は申請がなかったが、平成29年度も募集を行う予定である。事業者募集の広報等を検討し、賑わいのある商店街へつなげていきたい。
	観光PR活動の継続	・商店街に、まちなか案内所を設置(観光協会)している。 ・武雄温泉駅に、観光案内所としてコンシェルジュを配置(観光協会)した。	・駅観光案内所は、コンシェルジュによる丁寧な対応など好評を得て、1日20人ほどの利用者がある。	・市内観光コースの提案や企画などの案内業務の質の向上に努めていきたい。
	住民参加プロセスの強化	・地域創生プロジェクト「TAKEO MABOROSHI TARMINAL」に取り組みをダイナミックロゴを作成し、活性化ワークショップや地域資源を活かした新たな事業を企画しました。	・まちなかの賑わいや活性化を目指とし、ロゴの作成で市民とともにまちづくりを考える気運を高めることができた。	・引き続きワークショップを開催し、賑わいや活性化へつなげるため地元住民や商店主などの意見やアイディアで、市民と一体となったまちづくりへと進めていきたい。
改善策  ・まちづくりの目標を達成するための改善策 ・残された課題・新たな課題への対応策 ・その他 必要な改善策	関連事業の早期完成	・土地区画整理事業と佐賀県施工の街路事業で調整し、交差点改良工事に着手した。	・商店街や旅館、観光スポットである武雄温泉楼門の出入り口となる交差点の改良工事に着手した。平成28年度中完了の予定である。	・交差点改良後は、歩道設置による歩行空間の整備や、信号機設置により自動車交通や歩行者の横断が安全になり、中心市街地と駅などの往来が容易になり、回遊性の向上を目指す。
	区画整理事業後の未利用地の解消	・区画整理事業の工事のため、市所有の未利用地は現場事務所として利用した。	・空き地ではない状態となっているが、商店等賑わいのある街並みではないため、未利用地の活用を検討しなければならない。	・平成29年度で武雄北部土地区画整理事業地内の工事完了を目指している。市所有の未利用地の活用策を模索し、魅力ある街並みを創出し、未利用地の解消へつなげていきたい。

事後評価シート 添付様式5-③から転記

様式4-④ フォローアップにより新たに追加が考えられる今後のまちづくり方策

追加が考えられる今後のまちづくり方策	具体的な内容	実施時期	実施にあたっての課題 その他特記事項

# 都市再生整備計画(精算報告)

たけおおんせんえきしゅうへん  
武雄温泉駅周辺地区

さが たけお  
佐賀県 武雄市

## 都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	佐賀県	市町村名	タケオシ 武雄市	地区名	タケオ ホクブ チク 武雄北部地区	面積	197 ha
計画期間	平成 22	年度	～	平成 26	年度	交付期間	平成 22 年度 ～ 平成 26 年度

### 目標

**大目標 武雄温泉と周辺の地域資源を活かした、中心市街地の賑わいと交流のあるまちづくり**

- 目標1 新しい交流拠点を創出し、中心市街地への交流の促進を図る。
- 目標2 中心市街地の商業地としての魅力を高め、商店街の再生を図る。
- 目標3 温泉と周辺の地域資源を活かし、魅力ある温泉街づくりを目指す。

### 目標設定の根拠

#### まちづくりの経緯及び現況

- ・佐賀県西部地区の中心都市である本市は、自然に恵まれた健全な温泉地として古くから発展してきたが、旅行の需要低迷や観光地間における誘客競争が激化する中、観光産業は衰退傾向である。
- ・本市の北部市街地（中心市街地）は観光産業の低迷に加え昨今のモータリゼーションの進展にともない、南部市街地へ商店の流出や郊外型大型店の出店が相繼ぎ、空洞化や商業者の高齢化が進んでいる。
- また、道路や駐車場などの都市基盤が整備されておらず、市民、来訪者のニーズに対応できていない状況である。
- ・武雄市中心市街地活性化基本計画において、高架・区画による市街地の整備改善と商業活性化の一一体的推進が目標に掲げられている。また、平成19年度に策定された「武雄市総合計画」においても鉄道高架事業や武雄北部区画整理事業の早期完成を目指し、九州新幹線長崎ルートの整備を見据えて、本市の顔となる駅及び駅周辺の整備や西九州の交通拠点として、交流人口の拡大を図る方針が示されている。
- ・このような中、平成17年度に「交流人口の拡大」、「中心市街地の回遊性」「安全性・快適性の向上」の3つを柱とした都市再生整備計画を策定し、新しい「武雄の顔づくり」による中心市街地の再生のための整備を行った。
- 関連事業としてナイトラウンジゾーンに位置づけている「川端どおり憩いの遊歩道」の整備により、周辺の飲食店舗数が増加し、賑わいと活力が増進するなど着実な効果がみられる。
- ・中心市街地の活性化に向けた取り組みとして、遊歩道整備により周辺飲食店舗で構成する「川端どおり商店会」が、遊歩道の景観維持・管理、イベントなどを行っている。また、地域住民と行政で「武雄市中心市街地まちづくり研究会」を組織し、今後の中心市街地の活性化のための研究活動を行っている。
- ・温泉通りで行われている「桜門朝市」は、官民一体のイベントとして盛り上がりをみせており、今後の活動展開が注目されるところである。
- ・白岩運動公園では、いろいろな大会が開催されているが、公衆トイレは汲取り方式で衛生的ではない。またバリアフリー対応でなく、特に障害者には使いづらい施設である。

#### 課題

- ・年間145万人の観光客が本市を訪れているものの、中心市街地への交流人口は停滞している。この経済効果を中心市街地へ波及させるため、市街地へ誘導できる方策や新しい交流拠点の整備が必要である。
- ・中心市街地の商店街は、経営者の高齢化や後継者不足により店舗の閉鎖が進行し、商業地としての機能・魅力が衰退しており、賑わいのある利便性の高い商業地への再生が求められる。
- ・温泉街周辺自然や歴史などの地域資源を活かした、観光客が歩きながら滞留できる空間の整備や回遊性のある温泉街・商店街づくり等の取り組みが必要である。
- ・地区内の幹線道路は歩道がなく、不規則な交差点が存在している。区画整理などの道路整備に伴い市街地への誘導と交流を促進するため、各種事業との一體的な整備により連携を図っていく必要がある。
- ・白岩運動公園の公衆トイレは、バリアフリーの公衆トイレに整備して、障害者も積極的に行事参加できるようにする必要がある。

#### 将来ビジョン（中長期）

新たな都市機能の集積を進め、人と人、地域と地域を結ぶ魅力的な交流拠点都市づくりを行い、一層の拠点性の向上を図る。

### 目標を量量化する指標

指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	基準年度	目標値	目標年度
1. 歩行者等交通量	人・台 ／12時間	温泉どおり及び松原どおりの歩行者 および自転車の通行量	中心市街地の通行量は大幅に減少している。しかし、区画整理事業による幹線道路や新たな交流拠点の整備により、交流人口の増加が見込めることから、計画期間内での減少傾向からの脱却を目指す。	481	平成21年度	498	平成26年度
2. 空き店舗率	%	中心商店街における空き店舗の総店舗数 に対する割合	今後も事業者の高齢化や後継者不足により増加していくと予測されるが、中心商店街再生に向けた諸事業を行うことにより、空き店舗(地)の減少への転向を図る。	13.6	平成21年度	11.0	平成26年度
3. 中心市街地の満足度	ポイント	中心市街地の居住者等を対象としたアンケート調査	総合的な事業効果を判断するため、中心市街地の商業者、居住者にアンケートを行い、事業前と比較して中心市街地としての魅力や利便性が向上したかの比較を行う。5段階評価を行い、従前3.0から1.0の向上を目指す。	3.0	平成21年度	4.0	平成26年度

## 都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<b>整備方針1(中心市街地への交流の促進)</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中心市街地への来訪は、鉄道を利用し新駅舎からメイン道路を歩くルートと車で国道34号からシンボルロードを通り中心市街地へ向かう2通りの方法がある。このルートの結節点でもある中心市街地の入り口に「街なか広場」を整備し、市民や来訪者が出会う交流の場として、また各種イベントのメイン会場や中継点となる交流拠点施設として位置付ける。</li> <li>・新旧市街地を結び駅舎に通じる幹線的な道路等について、道路の機能強化を図る整備を進め、来訪者や市民に対し人にやさしい安全で快適なアクセス道路を整備する。</li> <li>・武雄市への来訪者を増やすため、観光客の誘客に加えスポーツ大会などの誘致により市街地へ流れる基礎人口の拡大を図る。そのため障害者も積極的に参加できるよう、バリアフリー対応の公衆トイレと、安全な通路を整備する。</li> </ul>	道路(基幹事業／西浦天神崎線・天神崎白岩線) 公園(基幹事業／白岩運動公園トイレ) 区画整理事業(基幹事業／武雄北部都市再生) 地域生活基盤施設(基幹事業／街なか広場) 武雄北部土地区画整理事業(関連事業) 街路事業(関連事業)
<b>整備方針2(中心商店街の再生)</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中心商店街を通る幅員狭小のメイン道路を、区画整理事業により広幅員歩道を備えた道路に整備することにより、中心商店街の商業地としての魅力を高める。</li> <li>・地域や団体の理解と協力により、景観に配慮した街路施設(街路灯、街路樹、カラー舗装)を整備し、商業地としての更なる魅力を充実、発展させる。</li> <li>・中心市街地へ通じる市道についても、道路の機能強化を図る整備を進め、来訪者や市民に対し人にやさしい安全で快適なアクセス道路に整備する。</li> </ul>	道路(基幹事業／筈町野田線) 区画整理事業(基幹事業／武雄北部都市再生) 高質空間形成施設(基幹事業／松原通り照明施設) 武雄北部土地区画整理事業(関連事業) 街路事業(関連事業)
<b>整備方針3(魅力のある温泉街づくり)</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・多くの入湯客が訪れる武雄温泉楼門を中心に点在する古寺社や趣のある町並み、豊かな自然を感じながら散策できる空間を整備する。</li> <li>・他の団体との連携により、新規出店者への空き店舗情報を整備する。</li> <li>・景観計画の中で重点地区に含まれる市道については、自然・歴史等の地域資源を活かすとともに中心市街地との連携の強化を図り、回遊性のある道路整備を進める。</li> </ul>	公園(基幹事業／丸山公園園路) 地域生活基盤施設(基幹事業／市街地観光案内板設置事業) 地域創造支援事業(提案事業／老朽建築物の解体及び保存事業) 街路事業(関連事業)

### その他

#### ○事業終了後の継続的なまちづくり活動

- ・当該地域では、「川端どおり商店会」により商店街形成の方針や、街の美観、維持管理活動を行っている。また、毎週日曜日には楼門朝市を開催し中心市街地の魅力向上へ向けた取り組みも行っている。地域創造プロジェクトの取組みにてワークショップを開催するとともに、賑わいや活性化につなげるために地元住民や商店主などの意見やアイディアで市民一体となったまちづくりへと展開していきたい。

交付対象事業等一覧表

交付対象事業費	433	交付限度額	173	国費率	0.4	(金額の単位は百万円)								
<b>基幹事業</b>														
事業	細項目	事業箇所名	事業主体	直／間	規模	(参考)事業期間 開始年度	終了年度	交付期間内事業期間 開始年度	終了年度	(参考)全体 事業費	交付期間内 事業費	うち官負担分	うち民負担分	交付対象 事業費
道路		芦町野田線	武雄市	直	L=660m	H23	H26	H23	H26	30	33	33	—	33
		西浦天神崎線	武雄市	直	L=280m	H24	H26	H24	H26	45	76	76	—	76
公園		天神崎白岩線	武雄市	直	L=250m	H23	H25	H23	H25	55	49	49	—	49
		白岩運動公園トイレ	武雄市	直	60.41m <sup>2</sup>	H24	H24	H24	H24	35	35	35	—	35
河川		丸山公園園路	武雄市	直	L=637.0m	H25	H25	H25	H25	18	19	19	—	19
下水道														
駐車場有効利用システム														
地域生活基盤施設	観光情報板	—	武雄市	直	—	H24	H26	H24	H26	15	20	20	—	20
	広場	街なか広場	武雄市	直	1,635.33m <sup>2</sup>	H23	H23	H23	H23	5	4	4	—	4
高質空間形成施設	緑化施設等	松原通り照明施設	武雄市	直	L=380m	H24	H25	H24	H25	13	13	13	—	13
高次都市施設														
既存建造物活用事業														
都市再生交通拠点整備事業														
土地区画整理事業	武雄北部	武雄市	直	A=9.0ha	H9	H30	H22	H26	H26	1,880	175	175	—	175
市街地再開発事業														
住宅街区整備事業														
地区再開発事業														
人にやさしいまちづくり事業														
優良建築物等整備事業														
住宅市街地	拠点開発型													
総合整備	沿道等整備型													
事業	密集住宅市街地整備型													
街なみ環境整備事業														
住宅地区改良事業等														
都心共同住宅供給事業														
公営住宅等整備														
都市再生住宅等整備														
防災街区整備事業														
合計										2,096	423	423	0	423
<b>提案事業</b>													交付対象 事業費	
事業	細項目	事業箇所名	事業主体	直／間	規模	(参考)事業期間 開始年度	終了年度	交付期間内事業期間 開始年度	終了年度	(参考)全体 事業費	交付期間内 事業費	うち官負担分	うち民負担分	交付対象 事業費
	老朽建築物解体及び保存事業	—	武雄市	直		H25	H25	H25	H25	9	9	9	9	9
地域創造支援事業														
事業活用調査	事業効果分析事業		武雄市	直		H26	H26	H26	H26	5	1	1	1	1
まちづくり活動推進事業														
合計										14	10	10	0	10
合計(A+B)													433	
<b>(参考)関連事業</b>														
事業	事業箇所名	事業主体	所管省庁名	規模	(いすれかに○) 直轄 補助 地方単独 民間				事業期間 開始年度 終了年度	全体事業費				
土地区画整理事業	武雄北部	武雄市	国土交通省	A=9.0ha	直轄 ○	補助 ○	地方単独 ○	民間 ○	H10 H30	7,750				
街路事業	中野御船山線	武雄市	国土交通省	L=270m	直轄 ○	補助 ○	地方単独 ○	民間 ○	H20 H32	1,540				
街路事業	甘久武雄線	佐賀県	国土交通省	L=288m	直轄 ○	補助 ○	地方単独 ○	民間 ○	H21 H28	1,000				
街路事業	内町迎田線	佐賀県	国土交通省	L=100m	直轄 ○	補助 ○	地方単独 ○	民間 ○	H23 H28	240				
合計										10,530				